

## 今を生きる作曲家たちの赤裸々な告白

「あのポールがクラシックを？」…ビートルズ時代を知っている往年の洋楽ファンなら誰もそう思うかもしれない。しかし、ポール・マッカートニー(1942～)は、もはやクラシックの分野でも地歩を確立した現代作曲家である。ビートルズ時代の“Yesterday”に初めて弦楽四重奏を使って以来、ポールはロックとクラシックの垣根を取り払い、1990年代以降、次々とクラシックの楽曲に挑戦し、その世界でも認められてきた。

『心の翼～Ecce Cor Meum』(2006)は、オックスフォード大学モードリン・カレッジに新しいコンサートホールが建設されるのを記念してポールに委嘱された現代の「オラトリオ」である。子供の頃にピアノのレッスンを受けただけで正式に作曲や楽典を学んだことのないポールは、何か起きることを期待されて自分に依頼が来たことを意気に感じ、8年の歳月をかけてこの大作を仕上げた。その間に最愛の妻リンドガをなくした私的な感情も含め、ポールは、宗教的な音楽で

はなく精神的な告白としてこの曲を書いた。“Ecce Cor Meum”とは、「私の心を見よ」即ち「僕の思いを言わせてくれ」という意味である。

ダン・フォレスト(1978～)は、合唱、管弦楽、器楽、吹奏楽の分野で高く評価されているアメリカ生まれの現代作曲家である。『生ける者のためのレクイエム(Requiem for the Living)』(2013)は、ミサの典礼文と聖書から死後の世界や死者に向けた記述を除外して作曲されたもので、まさに葛藤の中で「今を生きている者」に生きる意味を問ひかけ、希望を与えるために書かれた曲である。これは、人の宿命に起因する様々な苦しみへの一つの答えとして、宗教の垣根を超えたところで成立する普遍的な音楽である。

これら二つの楽曲は、ともに合唱とオーケストラのために書かれた現代の名曲であり、音楽と人間を愛する者にとって看過することのできないメッセージを伝えている。今、この時代だからこそ聴いてほしい名作を是非、コンサートホールで体験して頂きたい。

(記:河辺 泰宏)



Conductor  
**出口 大地**  
DEGUCHI, Daichi

第17回ハチャトゥリアン国際コンクール指揮部門にて日本人初の優勝。クーセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位及びオーケストラ賞受賞。関西学院大学、東京音楽大学指揮科にて学び、2023年ハンスアイスラー音楽大学ベルリン指揮科修士課程修了。ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、アルメニア国立交響楽団等の指揮を経て、東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会で日本デビュー。以降日本各地のオーケストラへデビューが続いている。ベルギー・リエージュ王立フィルハーモニー管弦楽団のアシスタントコンダクター(2024/5シーズン)。

広上淳一、クリスティアン・エーヴァルト、パーヴォ・ヤルヴィ、ドナルド・ラニクルズ、井上道義、沼尻竜典、下野竜也各氏らの薫陶を受け、ベルリン放送交響楽団ではヴァルディーミル・ユロフスキ氏のアシスタントを務めた。

公式ホームページ <https://daichideguchi.wixsite.com/daichideguchi>



Soprano  
**木下 美穂子**  
KINOSHITA, Mihoko

武蔵野音楽大学卒業。同大学院及び二期会オペラスタジオ修了。リチャ・アルバネーゼブッチーニ国際声楽コンクール第1位、ヴェルディ国際声楽コンクール第2位、サンタ・マルゲリータ国際声楽コンクール第1位、出光音楽賞等受賞歴多数。2003年ベオグラード国立歌劇場『蝶々夫人』タイトルロールで欧州デビュー以降、同役でバンクーバー・オペラ、ソフィア国立歌劇場、デトロイト歌劇場、オペラ・サンタバーバラ、ピサ・ヴェルディ劇場、ロンドン・ロイヤル・アルバートホール等に出演。国内でも『ドン・ジョヴァンニ』『ドンナ・エルヴィラ』『トゥーランドット』リユー、『カルメン』ミカエラ、『椿姫』ヴィオレッタ等大役を数多く演じている。近年は『トスカ』タイトルロール、『ローエングリン』エルザ、『アイダ』タイトルロール等に出演。コンサートでも、ヴェルディ「レクイエム」やブリテン「戦争レクイエム」等に出演。二期会会員

©Yoshinobu FUJIKAWA aura2



Soprano  
**前田 ひより**  
MAEDA, Hiyori

岐阜県多治見市出身。愛知県立明和高等学校音楽科卒業、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。現在東京藝術大学別科1年在学中。第14回東海音楽フェスティバル声楽部門銀賞。第72回全日本学生音楽コンクール高校の部名古屋大会1位、全国大会出場。第73回全日本学生音楽コンクール高校の部名古屋大会1位、全国大会1位。荻野砂和子、中島郁子、平松英子氏に師事。



Tenor  
**大久保 亮**  
OKUBO, Ryou

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学院首席修了。ワーグナー楽劇「神々の黄昏」ジークフリート役をはじめ様々なオペラに出演の他、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」エヴァンゲリストをつとめるなど、宗教曲ソリストとして数々のコンサートに出演。現在、「グリーン・エコー」ヴォイストレーナーの他、「岡崎市民合唱団」常任指揮者、「バッハアンサンブル名古屋」合唱指導者、混声合唱団「コールキルシエ」、「大府ジュニア合唱団」指揮者、合唱団「花集庵」、合唱団「イオス」にてヴォイストレーナーを務めている。

2025 **3/20**(木・祝)  
15:15開場 16:00開演  
**愛知県芸術劇場  
コンサートホール**

S席:5,000円/A席:4,000円/B席:3,000円/Y席:1,000円(学生券) [全指定席]

【チケット取扱/2024年12月20日発売開始】

- 長円寺会館/052-231-0955
  - 愛知芸術文化センタープレイガイド/052-972-0430
  - 名古屋市文化振興事業団チケットガイド/052-249-9387
  - ローソンチケット[Lコード:43631]
- 店舗購入:ローソン・ミニストップ店内「Loppi」  
WEB予約:<https://l-tike.com/>

- Y席につきましては長円寺会館にお問い合わせ下さい。
- お席によっては字幕が見えないことがあります。
- 車椅子席があります(2,000円)。
- 託児を行っています(無料)。
- ★車椅子席及び託児につきましては二週間前までに長円寺会館に予約が必要です。
- その他問い合わせ先  
長円寺会館内グリーン・エコー 052-231-0955

